

子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)
論文概要の和文様式

雑誌における論文タイトル: Association between the occupation of pregnant women's partners and risks of infant low birth weight and preterm birth in a prospective birth cohort: the Japan Environment and Children's Study

和文タイトル: 前向きコホートにおける妊婦のパートナーの職業と子どもの低出生体重及び早産との関連: エコチル調査

ユニットセンター(UC)等名: 北海道ユニットセンター
サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Journal of Occupational and Environmental Medicine

年: 2024 DOI: 10.1097/JOM.0000000000003279

筆頭著者名: 小林 澄貴
所属 UC 名: 北海道ユニットセンター

目的:

妊婦のパートナーの職業と子どもの低出生体重および早産との関連を検討した。

方法:

エコチル調査に 2011 年 1 月から 2014 年 3 月までに参加登録された 46,540 名の妊婦のパートナーを対象とした。妊婦のパートナーの職業と子どもの低出生体重・早産との関連を、低出生体重と早産以外の要因で、低出生体重と早産に影響を与えるものを排除した統計解析手法(ロジスティック回帰モデル)を使用して調べた。

結果:

低出生体重と早産の発生率は 7.5%と 4.1% であった。妊婦のパートナーが専門職及び技術職従事者である者と比較して、事務従事者およびサービス従事者の低出生体重におけるオッズ比(95%信頼区間)はそれぞれ、1.188(1.028-1.372)、1.207(1.052-1.385) であり、高かった。その一方で、妊婦のパートナーの職業と子どもの早産との間に関連はなかった。

考察(研究の限界を含める):

職業分類は妊婦のパートナー自身が記入したアンケートに基づいており、専門家によって分類されたものではないため、誤った分類が発生している可能性がある。また、本研究のデザインは横断研究であるため、因果関係(原因と結果の関係)を示すことが出来ず、相関関係(二つの間に関連性がある関係)しか言えない。

結論:

妊娠時の妊婦のパートナーの職業と子どもの低出生体重とのあいだの関連は認められたが、子どもの早産との間に関連は認められなかった。